

つながり、創る、京の知恵

京都府教育委員会では、「京都府教育振興プラン」に基づき、歴史と伝統にはぐくまれたふるさと京都が持つ様々な力を活かし、学校や地域の実情に応じた「京都府ならではの教育」を進めています。

重点目標1. 質の高い学力をはぐくむ

重点目標2. 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

重点目標3. たくましく健やかな身体をはぐくむ

子どものための京都式少人数教育

府教委が30人程度の学級編制が可能な教員配置を行い、市町村教委が子どもや学校の状況に応じて少人数教育の手法を選択実施できる「京都式少人数教育」。



今年度は中学校へも拡充します。



少人数授業

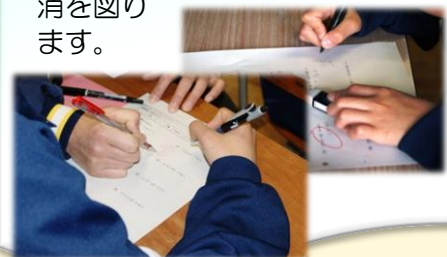
チームティーチング

少人数学級

から自由選択

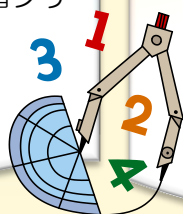
中1振り返り集中学習～ふりスタ

中学1年生の早い時期に小学校の基礎基本を徹底することにより、学習のつまずきの解消を図ります。



課題対応型学習

子ども一人一人の課題を見つける府独自の学力診断テストを実施するとともに、その課題に応じた学習プリントが採せるデータベースソフト「算数・数学ナビツアー」を開発します。



まなびアドバイザー

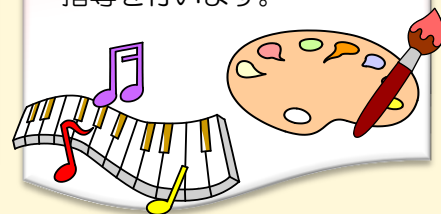
教育と福祉の両方の視点から子どもや家庭への支援を行い、基本的生活習慣の確立や学習習慣の定着を図ります。



23年度
新規！

京都式専科教育

小学校高学年の音楽・図画工作の授業において、中学校等の教員による専門的な指導を行います。



古典の日

子どもたちが古典に親しみ、日本語の美しさを感じることができるよう、古典作品や地域に伝わる昔話などの朗読・暗唱大会を開催します。



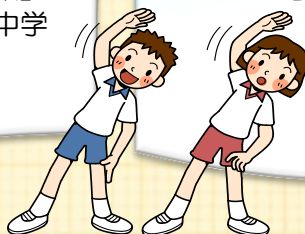
茶道などの伝統文化の継承

京都府にゆかりの深い茶道や華道をとおしての伝統文化の学習をすべての府立高校で実施し、礼儀や作法等を重んじる心をはぐくみます。



京の子ども 明日へのとびら

子どもたちが人間としてよりよく生きる基本を学ぶことができるよう、京都の英知を結集した「生き方応援メッセージ集」として、府内の小・中学生全員に届けます。



京の子ども元気なからだスタンダード

個々の子どもの運動や身体動作の獲得状況を把握できる「京の子ども元気なからだスタンダード」を活用し、子どもたちの実態に応じた体力向上を図ります。



重点目標4. 一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす

重点目標5. 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

23年度
新規！

京都府スーパーサポートセンター

京都府の特別支援教育の拠点として、宇治支援学校内に設置。専門的な研修・研究やスペシャリストによる相談対応を行うなど、発達障害を含む障害のある子どもへの就学前から高校卒業後まで一貫した支援に努めます。



23年度
新規！

社会とかかわる力の育成

関係機関の協力を得て出前授業等の学習機会の充実を図る「結(ゆい)ネットKYOTO」を設立するなど、社会のしくみを理解し積極的に社会参画していく力をはぐくむ取組を支援します。



「もうすぐ1年生」体験入学

年間をとおして複数回にわたり授業体験を行うなど、新1年生が小学校に入学してからの生活をスムーズに送れるような取組を広げます。



大学の先生に学ぼう～京大との連携～

優れた人的・物的資源を活用し、子どもたちの知的探究心を高めます。

- ・大学の研究者による出前授業
- ・中学・高校生「物理グランプリ」「数学グランプリ」の開催
- ・最先端の科学技術に触れる教員研修

体系的・組織的なネットワークを構築することにより、大学連携の新たなモデルを目指します。



23年2月には、京都大学と連携して、小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルの特別公開を実施しました。

